

具体的課題	目指すもの	議論内容・取組み	結果	振り返り・モニタリング
ワーキンググループ 緊急時対応…アセスメント様式について	緊急時対応のアセスメント様式について検討。	相談員がアセスメントをする際の、共通の様式についての検討を行った。	ご本人のしてほしいこと、してほしくないこと、連絡先、支援機関等を記載できる原案を作成した。修正し、次回の部会にて配布し、検討を行う。	
ワーキンググループ ガイドライン…内容について	サービスのガイドラインの内容について検討。	相談員によって計画に組み込むサービス量の差の解消、また、ご本人の希望と支給量のすり合わせるにはどのような方法がよいか。	サービス支給量の基準を決めたらどうか。 例：支援度を点数化し、個別の状況を考慮した基準をもとにサービス量を提案する。 →支給量は個々によるのでは？ 支給量の差はモニタリングで修正可能であり、支給決定を行う市担当者も支援会議に出席するのでそこですり合わせもできるのでは？	
ワーキンググループ スキルアップ…計画作成におけるスキルアップについて	計画作成におけるスキルアップのための方法について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 他の相談員が作成したプランを見せ合う学習会を行い、言い回し等の参考にする。 ② 今ある事例を皆でプラン作成する。作成段階から意見を出し合い、他の相談員の意見を具体的に知ることができる。 ③ モニタリング報告書の様式を使いやすいものにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 来年度に行いたい。時間、方法については今後検討。 ② 今後行っていきたい。 ③ ワーキンググループを作り、計画やアセスメント書式含めて様式の検討を進めていく。 	
	個別支援計画との連携について	サービス等利用計画は各事業所に渡しているが、各事業所の個別支援計画は相談支援事業所に届かないことが多い。連携が必要。	相談支援専門員と各事業所サビ管等担当者との連携、流れの周知が必要。	

28年度役員選任	28年度相談支援部会の中心となる役員を選任し、よりよい部会の発展につなげる。	新正副部長に、ろぜっと山口さん、稲荷山医療福祉センター相談室福田さんを推薦（現部長大村さんより）。どちらが正副部長かは今後決定する。 →正副部長が2名とも交代となるのは大変ではないか？	2名の選任については承認された。 今後の正副部長の任期については来年度検討を行う。	
【イベント等開催報告、または予定】 次回開催予定 28年3月8日（火） 場所：千曲市役所戸倉庁舎 時間：10:00～11:30				

*各部会にて検討されたこと、課題となったこと 以前検討されたことについてのモニタリング等 簡潔に